令和2年11月30日（通巻第187号）

***ボウルズ・ジャパン　ブリテン***

　　　　　　　　　　　発行元：NPO法人ローンボウルズ日本　総務部

一般情報など

（１）グリーン改修情報

　　　　１）神戸しあわせの村グリーン（10リンク）については、天然芝グリーンから人工芝グリーン

　　　　　　への改修工事を、12月1日から2021年3月31日までグリーンをクローズして実施する。

　　　　２）明石公園グリーン（人工芝7リンク）については、人工芝の下の基礎の不陸（でこぼこ）

　　　　　　修正のみを2021年3月31日までに実施するが、グリーンのクローズ期間については現在

　　　　　　未定。

（２）ローンボウルズを高知大学のSDGs への取り組みとして推進

　　　　SDGs（持続可能な開発目標）とは、2030年までの国際目標として国連サミットで採択された17のゴールと169のターゲットであり、日本も含む世界中の国がその達成に向けて取り組むことを誓ったものです。

　　　高知大学では全学をあげてSDGsへの取り組みを推進されており、その取り組み実績事例を大学ホームページに公開されています。

　　　その中に、当法人の会員でもある人文社会科学部門教授の川本真浩さんによる取り組み事例

　　　「ローンボウルズを活用した国際化教育の拠点づくり」が含まれています。

　　　詳しくは下のURLをクリックして「４．質の高い教育をみんなに」と言うページを開いてみて

ください。

<https://www.kochi-u-sdgs.info/sdgs%E5%8F%96%E7%B5%84%E4%BA%8B%E4%BE%8B>

　　　更に具体的な活動状況は、6ページ以降に川本さんからの投稿記事により詳細に記述されていま

すので、ご覧ください。

（３）新入会員紹介

　　　　11月付けでALBCクラブから次の2名の方がBJへ新入会されました。

山本唯信さん　垣内元治郎さん

2020年11月の行事、活動などの結果

（１） ガバナンスコード適合性審査ヒヤリング調査

　　　　日時：11月24日（火）14:00～16:00

 場所：オンライン・テレビ会議（Microsoft Teams）にて

調査委員：多賀 弁護士、井上 公認会計士、渡 順天堂大学教授

　　　　対応者：山田会長、森事務局長

　　　　結果：審査項目43項目について逐一細かい補足の記述の追加を求められ、遅くとも年末まで

に再提出を求められた。弁護士などを含む外部理事の登用や女性理事比率のアップを

強く要請されたことが印象的であった。

（２） 2020年度第3回定期理事会および臨時総会の開催

　　　　日時：11月28日（土）　　　　　場所；Zoom Web 会議

 理事会（定足数20名）：出席14名　依田、安達、黒沢、松原敬、Alex、奥田、坂本、合田

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　山田、児島、横井、森、小山、川本（松浦の代理）

　　　　　　　　　　　　　　　委任状5名　松原忍、木藤、倉本、旭、吉田

　　　　　　　　　　　　　　　欠席1名　　來田

　　　　理事会（定足数16名）：出席12名　依田、黒沢、松原敬、Alex、山田、児島、小山、川本

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　奥田（長島の代理）、坂本（宮崎の代理）、松岡（江村の

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代理）、合田純（合田洋の代理）

　　　　　　　　　　　　　　　委任状4名　松原忍、木藤、倉本、吉田

　　　　議題：定期理事会（13:00 ～15:30 ）

1. 日本選手権大会等の改革検討小委員会からの答申についての審議

　　　　　　答申案を出席者の多数決で承認した。

1. 会計中間報告についての審議

　　　　　　　　　　　　　　　中間報告について多数決で承認した。

1. 関東、関西ＬＢ協会役員と本部役員の兼務に関する内規の見直し案の審議

　　　　　　　　　　　　　　　見直し案について多数決で承認した。

　　　　　　　 ④ その他

 臨時総会（15:30 ～16:00 ）

1. 会員制度内規の一部修正および過去5年間の総会議事録の修正案の承認

　　　　　　　　　　　　　　　修正案について多数決で承認した。

ガバナンス・コンプライアンス研修会（16:00～17:00 ）

講師：日本スポーツ仲裁機構　仲裁・調停専門員、弁護士　恒石直和氏

1. ガバナンスコードで定められている１３の原則について
2. ガバナンスコードが定められた背景について
3. ガバナンス不全の例について
4. ガバナンス不全の予防策について
5. ガバナンスコード適合性審査に向けて着手すべき優先事項
6. 日本スポーツ仲裁機構の自動応諾条項について

（３） 関西LB協会運営委員会の開催

　　　　日時：11月21日（土）9：30～12:00

　　　　場所：しあわせの村研修館会議室

　　　　出席：児島会長、旭副会長、西口事務局長、南川会計、山田、宮北、奥田、坂本、合田

　　　　　　　中山、吉田　　　（オブザーバー）森、藤川

　　　　議題：① 2021年度大会年間計画（日本選手権大会を含む）および主管事務局・サポートクラ

ブの承認

* しあわせの村改修記念大会を4月11日（日）に開催する。
* この年間計画表に従ってリンク（しあわせの村、明石公園）の優先予約申請を

11月末までに関係先に提出する。

　　　　　　　② SVリーグの来年度計画、Mリーグの来年度実行体制について決定

1. 2021-22年度関西LB協会役員選任の審議
2. その他

（４） SVリーグ2020年度大会(最終節)

主催：関西ローンボウルズ協会

主管：SVリーグ実行委員会

リーダー： 村人クラブ、会計： 神戸タッチャーズ、記録：ＡＬＢＣ

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：11月21日（土）13:00スタート～　　（受付：12:30〜）

　結果：11月21日終了段階での最終成績結果

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 順位 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | 6位 | 7位 | 8位 | 9位 | 10位 |
| チーム名 | ﾀｯﾁｬ-ｽﾞ－C　　　 | ﾀｯﾁｬ-ｽﾞ－A | 村人ｸﾗﾌﾞ－Ａ　 | 学 園　　　－Ｂ | ﾀｯﾁｬ-ｽﾞ－B　 | 村人ｸﾗﾌﾞ－B　 | ALBC－Ａ | 学園 －A | 兵庫　車椅子 | ALBC－B |
| 勝点 |  37 | 33 |  33 |  33 |  31 | 24 |  22 |  22 |  18 |  15 |
| 得失点差 | +45 | +54 | +44 | +26 | －10 | －16 | －9 | －31 | －31 | －72 |

（５）Ｍリーグ2020年（上期＋下期）大会(最終節)

主催：関西ローンボウルズ協会

主管：Mリーグ実行委員会

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：11月14日（土）１3時00分スタート

 成績結果：11月14日にて8月～11月までの全14回の試合を終了した（11月28日は

表彰式および親睦試合）。上位入賞者の最終成績は次の通り。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 氏　名 | 平均ポイント | ポイント合計 | 出場試合数 |
| 1位 | 横井 幸雄（神戸タッチャーズ） | 6.75 | 94.5 | 14 |
| 2位 | 丸草 佑次（生涯スポーツ） | 6.46 | 90.5 | 14 |
| 3位 | 米田 啓一（生涯スポーツ) | 6.42 | 77.0 | 12 |

 皆勤賞（全14試合出場者、但し１，２，３位及び飛び賞受賞者は除く）

|  |
| --- |
| 梶原洋介（生涯スポーツ）、中村忠昭（BSC）、野田和夫（神戸タッチャーズ）川阪泰夫（BSC）、宮北　茂（神戸ボウルズ） |

（６）Aリーグカップ2020年大会(第13,14節)

主催：関西ローンボウルズ協会

主管：Ａリーグ実行委員会

場所：明石公園ローンボウルズグリーン

日時：11月1日（日）、22日（日）13:00～17:00

結果：11月22日　終了時の成績結果は次の通り。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | A-1リーグ  | A-2リーグ |
| １位 | 山形史朗（学園ワイズ）　187点 | 森　紘一（学園ワイズ） 135.5点 |
| 2位 | 藤崎政和（ＡＬＢＣ）　 173点 | 松本惣一　（ALBC） 　 123 点 |
| 3位 | 魚住弘治 （ＡＬＢＣ） 166点 | 田中真理子（学園ワイズ）106 点 |

（７）フレンドシップ・ファイナル2021　ローンボウルズ大会

主催：神戸タッチャーズ

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：11月4日（水）9:00〜16:00

競技内容：ペアーズ戦（男女を問わない）、

１人4球8エンド（65分時間併用制）4試合実施

　　　　結果： Δ＝総得点/総失点

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 氏　名　（所属クラブ） | 　成　績 |
| 1位 | 森　紘一、藤川辰美（学園ワイズ） | 4勝0敗、Δ＝2.68 |
| 2位 | 木内　進、樽井啓祐（ＢＳＣ） | 4勝0敗、Δ＝1.86 |
| 3位 | 林　嘉雄、安部　宏（神戸グリーン) | 3勝1敗、Δ＝2.36 |

（８）WMG2021関西リハーサルローンボウルズ大会

主催：WMG2021関西 兵庫県実行委員会

主管：認定NPO法人ローンボウルズ日本

場所：明石公園ローンボウルズグリーン

日時：11月7日（土）、8日（日）8:45～17:00　小雨決行・順延なし

競技方法：男女を問わないトリプルズ戦。

一人2球×10エンド戦（70分の時間制限あり）。

14チームをA,Bの2グループに分け、予選ラウンドは6ゲームを戦う。

　決勝ラウンドは、予選グループの上位2チームずつが、勝ち抜き方式で

　準決勝、決勝を戦う。

　　　　　結果：予選ラウンド Δ＝得失点差

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 順位 | 予選Aグループ | 予選Bグループ |
| 氏　名（所属クラブ） | 　成　績 | 氏　名（所属クラブ） | 　成　績 |
| 1位 | 合田、合田、ﾊﾟﾄﾘｯｸ（学園） | 5勝1分け | 八杉、宮内、平松（兵庫） | 4勝1敗1分け |
| 2位 | 小山、島、小山（LC京都） | 4勝2敗、Δ＝30 | 大杉、山田、宮北（神戸） | 4勝2敗、Δ＝21 |
| 3位 | 川村、植松、植松（兵庫） | 4勝2敗、Δ＝-2 | 垣内、魚住、旭（ALBC） | 4勝2敗、Δ＝14 |

　　　　　　　　決勝ラウンド

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 順位 | 氏　名（所属クラブ） | 　成績 |
| 優勝 | 大杉正樹、山田　誠、宮北　茂（神戸ボウルズ） | 2勝0敗 |
| 準優勝 | 小山裕木恵、島　美里、小山　潤（LC京都） | 1勝1敗 |
| 第3位 | 合田洋子、合田純二、ﾊﾟﾄﾘｯｸ･ﾊﾙﾊﾞｰﾄ（学園都市ﾜｲｽﾞﾒﾝｽﾞｸﾗﾌﾞ） | 1勝1敗 |
| 第4位 | 八杉　瞳、宮内廣二、平松康雄（兵庫車椅子クラブ） | 0勝2敗 |

（９）2020年度兵庫県民ふれあい大会

主催：兵庫県生涯スポーツ連合

主管：関西LB協会

後援：兵庫県教育委員会、兵庫県体育協会　等

場所：しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：11月22日（日）9:30～16:30　小雨決行・順延なし

競技方法：男女を問わないトリプルズ戦。一人3球×10エンド戦（80分の時間制限あり）。

チーム編成は当日　抽選により決定。

　1チームが3ゲームを実施し、3ゲーム合計の勝ち点および総得点/総失点

　の高い順で順位決定する。

　　　　　結果：12チームが参加 　　　　　　　　　　　　　　　　　 Δ＝得失点差

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 順位 | 氏　名（所属クラブ） | 　成績 |
| 1位 | 竹内義治（ﾀｯﾁｬｰｽﾞ）、八杉　瞳（車いす）、森　紘一（学園ﾜｲｽﾞ） | 3勝0敗 |
| 2位 | 林　嘉雄（神戸ｸﾞﾘｰﾝ）、児玉智子（ﾀｯﾁｬｰｽﾞ）、楊　錦華（ｳｲﾝｸﾞ） | 2勝1分、Δ＝+22 |
| 3位 | 野上京子（ﾀｯﾁｬｰｽﾞ）、宮崎宗久（ﾀｯﾁｬｰｽﾞ）、加久石幸三（生涯ｽﾎﾟ） | 2勝1分、Δ＝+11 |

（１０）明石市総合体育大会ローンボウルズ大会2020（秋季）

主催：明石市・明石体育協会

主管：関西LB協会

　　　明石市ローンボウルズ協会（ALBA）

場所：明石公園ローンボウルズグリーン

日時：11月29日（日）、9:00〜17:00

競技内容： 1チーム3名構成のトリプルズ戦を実施

　　　　　勝ち抜き方式で対戦相手が決まるという方法で4ゲームを実施し、

4ゲーム合計の勝ち点、得失点差により順位を決定する。

ゲームは一人3球の8エンド戦（75分の時間制限付き）。

　　　　　結果：14チームが参加 　　　　　　　　　　　　　　Δ＝得失点差

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 順位 | 氏　名（所属クラブ） | 　成績 |
| 1位 | 福井加代子、魚住弘治、西條和子（ALBC-B） | 4勝0敗 |
| 2位 | 竹内義治、西口　明、横井幸雄（神戸タッチャーズ-C） | 3勝1敗、Δ＝+26 |
| 3位 | 小林綾子、藤崎政和、旭　吉功ALBC-A） | 3勝1敗、Δ＝+20 |

2020年12月以降の計画、予定

（１）日本レクリエーション協会　加盟団体代表者会議　開催

主催：（公財）日本レクリエーション協会

場所：WEB会議

日時：12月3日（木）10：00～15:00

内容：１）令和３年度のスポーツ振興施策について（スポーツ庁他）

２）スポーツ振興センターtoto助成事業説明

３）令和３年度の日本レクリエーション協会基本方針と重点施策（案）について

４）その他

出席者：依田副理事長、森事務局長

（２）Aリーグカップ2020年大会(第15、16節)

主催：関西ローンボウルズ協会　　　主管：Ａリーグ実行委員会

場所：明石公園ローンボウルズグリーン

日時：12月6日（日）、20日（日）13：00～1７:00

　　　　（備考）前期（１月から６月）は全12回開催予定が、５回しか開催できなかったので、

　　　　2020年度は1月から12月までの前後期合計の成績で表彰することにしています。

（３）明石公園ローンボウルズグリーン年末大掃除

　　　　　主催：明石公園グリーン自主管理グループ

　　　　　日時：12月23日（水）10時から12時

会員からの投稿

**高知大学でのローンボウルズ実技授業から**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**ローンボウルズ高知ＵＣ　川本真浩**

　2020年10月から11月にかけて、高知大学において共通教育科目「スポーツ科学実技（ローンボウルズ）」を開講しました。私が所属する人文社会科学部だけでなく教育学部や理工学部もあわせて１～３年生の15名が集まり、通常授業がない土・日などを使って、半日とまる１日の組み合わせで４日間、集中的に授業を行いました（※注）。ＢＪ会員の皆さんにもその取り組みをお伝えすべく、とくに私が意識し工夫したこと～そしてそれに学生が応えてくれたこと～に的を絞って、以下に記します。

**（１）「めずらしい、特別なグローバル・スポーツ」であることを語る**

　いまの日本には、メジャースポーツ、マイナースポーツあわせて数えきれないほどたくさんのスポーツがあります。「年齢、性別、障害の有無などを問わず、楽しめるスポーツ」に絞り込んでも、けっこうたくさんあります。カーリング、ペタンク、ボッチャなど、ローンボウルズの親戚にあたる、類似のスポーツだっていくつもあります。そうしたなかでローンボウルズに注意を惹きつけるには、それが他と異なる「めずらしい、特別なグローバル・スポーツ」であることを知ってもらうのがひとつの手です。競技の歴史や国内外の現状、社会背景、課題や問題点まで詳しく話すことは、基本的に「実技」の授業ではありえないでしょう。でも、学生ほぼ全員、ローンボウルズについて何も知らないわけですから、「それがナニモノなのか」知っておいてもらうことは、大学の授業であればこそ必要ではないかと考えます。

　今回の授業では、世界選手権やコモンウェルス・ゲームズなどの動画も使いながら、ローンボウルズにかかわるさまざまな話をしました。また、授業中は海外大会の映像をスクリーンに流しっぱなしにしました。学生からは「ローンボウルズのプロはどんなふうに生計を立てているのか」「イギリスにはピンを倒すボウリングはないのか」など、さまざまな質問が出ました。

**（２）基本動作のベースになる部分、競技規則の基本的な部分を絞り込んで教える**

　歴史と現状の話をあれこれ加えるのとは対照的に、技術的な内容は、余分なものを削って基本的な事項に絞り込み、かつ小出しにします。そのようにする理由は、「時間をかけて取り組めるから」でもありますが、それ以上に「ローンボウルズはとても単純だと私が考えるから」でもあります。ボウルはこんな形をしていてこんなふうに転がっていく、それを考えに入れて方向を見定め、力を加減して転がす…など、大学生のアタマなら簡単に理解できる理屈です。

　このように書くと「いや、ローンボウルズは複雑で奥が深い」との反論が出るでしょう。たしかにそのとおりです。でも、「複雑で奥が深い」がゆえの面白さは、他人が教えることではなく、自分で気づき、見つけるものではないでしょうか。自ら気づくことができることを傍から先回りして言うのは～言うほうに悪気はないとしても～しばしば面白さを削いでしまうことがあるように思います。

　競技規則についても小出しにします。最初のうちは、ルールと違う部分があっても、無視して進めていきます。そして、時間をかけて、ひとつずつ付け足していきます。たくさん説明しても一気には覚えられませんし、まちがうたびにプレーを止めたり誤りを指摘したりしていては、面白さや楽しさが薄れるように思います。

**（３）ゲームを楽しみ始めたら、しばし「放置」する**

　これも時間のゆとりがあるからできることでしょうが、最低限の競技規則を説明したうえで、ある程度それを学生が理解し、ゲームが進むようになったら、あとはしばし「放置」します。ローンボウルズは「とても単純」ですから、投球フォームはバラバラ、ときにルールやマナーにそっていない部分があっても、とにかくゲームが進んで点を取ったり取られたりする、まずはそれでＯＫです。時間がたつと上手／ヘタの差がはっきりしてきますが、他のスポーツほどには差が目立たないのがローンボウルズです。教員が口を出さず学生任せにしてしまっても、チームワークをうまくとって皆が楽しめるように、学生自身が雰囲気づくりをしていきます。

　「攻め方」もほとんど教えません。全員ではないにしても、カンのいい学生は素早くゲームの特徴をつかみ、自分で考え始めます。仮に助言を求められたり口をはさんだりする場合も、私はまず学生にどう考えるかを尋ねてから、できるだけ複数の選択肢を示し、あとは学生自身が考え、決めるよう勧めます。「とても単純」で「考える余地が大きい」「チームメンバーと作戦を話し合える」そしてなによりも「正答が一つではない」ことがローンボウルズの面白さだと私は考えています。実際、「自分で考える楽しさを子どもから奪ってはいけない」と考える指導者が日本のスポーツ界でも増えつつあるようです。

　蛇足ですが、仮に自分より競技力の高い優れたボウラーがスキップであっても、その言いなりでプレーしなければならないようなチームは、ローンボウルズの楽しさが味わえないし、真の意味では強くなれないだろうし、少なくとも私は御免だ、とさえ思っています。

　以上、授業で心がけた３点を中心にまとめてみました。ＢＪ会員のなかにおられる体育・スポーツを専門とする方々からみれば、当たり前のこと、そして逆に的外れなこともあるだろうと思います。ただ、今回の授業は、自分なりに「予期した以上に大成功」だったと考えています。授業なかごろからは、私がとくに指示してもいないのに、「好プレーには敵味方なく拍手や歓声が起こる」、「自分たちで攻め方を考え、話し合ってプレーしていく」学生の姿が見うけられました。最終日の終了時間あたりでは「もう終わりとは…残念」という声も聞こえましたし、別の学生からは子ども用ボウルを使って子どもを集めたイベントを来年初めにやりたいという相談も受けています。そうしたことからも、自分の授業の進め方にそれほど大きな誤りはなかったと思います。

　これまた蛇足ながら、「世代を超えて楽しめる」ことはローンボウルズの魅力に違いありませんが、ローンボウルズの魅力を知ってもらうためにはまず「若者だけで楽しめる場をつくる」ことも大切ではないか、とずっと考えています。今回の授業ではそれが現実のものになりました！

　高知大学でのローンボウルズ実技授業は、今のところ来年度以降も開講できる見通しです。そのうち高知大学の名物授業のひとつにしてやるぞ、という野望を心ひそかに抱いています。

（※注：私の専門分野は歴史学（イギリス近現代史、帝国=コモンウェルス史）ですが、当授業の開講には高知大学教育学部のスポーツ科学分野の先生方から多大なご支援を賜っています。記して感謝の意を表したいと思います。）